

LM・グローバル・プレミア小型株ファンド

(年1回決算型) / (年2回決算型)

設定から1周年を迎えて

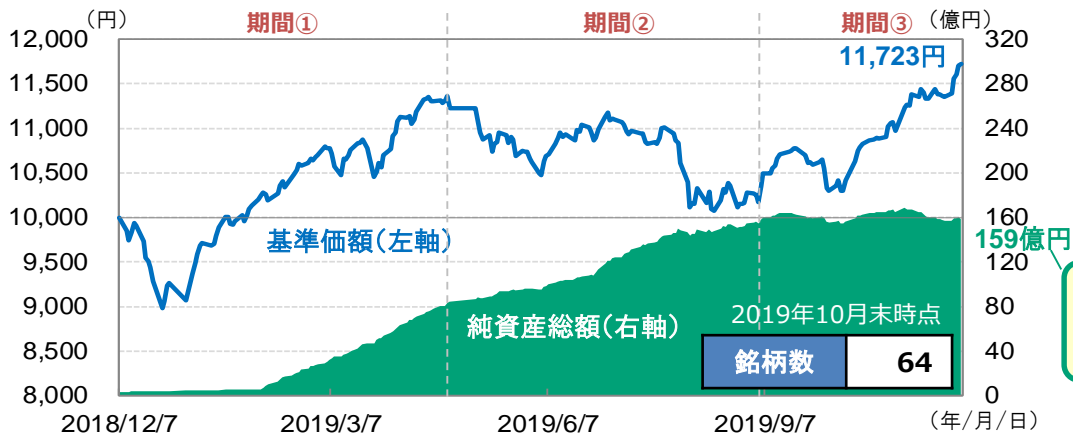
LM・グローバル・プレミア小型株ファンド(年1回決算型) / (年2回決算型)は2018年12月7日の設定から1周年を迎えました。皆さまの日頃のご愛顧に、厚く御礼申し上げます。当ファンドの基準価額動向及び足元の運用状況について、ご報告させていただきます。

～当ファンドの設定来からの振り返り～

- 当ファンドの基準価額は、設定直後は世界的な株安および円高の展開から短期的にその影響を受け下落しましたが、その後米中貿易協議の進展期待の高まり等により、4月末まで回復傾向となりました(期間①)。
- 5月以降は再び米中の対立が激化し、世界的にリスクオフの展開となったことで、大幅に下落しました(期間②)。
- 9月以降は米中双方の歩み寄りの姿勢や部分合意に向けた動きを好感し、回復基調が続いています(期間③)。

【年1回決算型の基準価額と純資産総額の推移】

(設定日: 2018年12月7日～2019年11月29日)



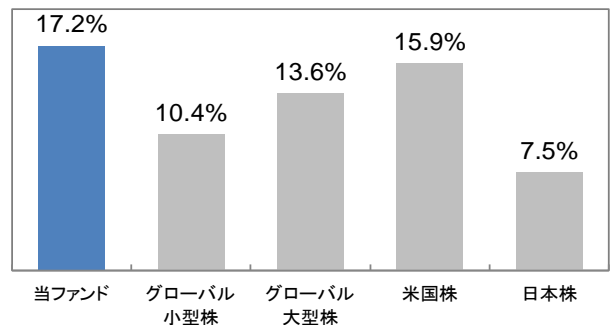
【年1回決算型の基準価額変動の内訳】

	設定来 (2018年12月7日～2019年11月29日)	
	変化幅	変化率
株式(キャピタル)	+2,099円	+21.0%
株式(配当)	+175円	+1.8%
為替等	▲359円	▲3.6%
信託報酬	▲192円	▲1.9%
変動要因合計	+1,723円	+17.2%

※基準価額変動額は、四捨五入の影響により各変動要因の合計と一致しないことがあります。

【当ファンドと他資産の騰落率の比較】

(設定日: 2018年12月7日～2019年11月29日)



(出所)ブルームバーグ

※当ファンド: LM・グローバル・プレミア小型株(年1回決算型)、グローバル小型株: MSCI ACWI 小型株指数、グローバル大型株: MSCI ACWI 大型株指数、米国株: S&P500種指数、日本株: TOPIX(東証株価指数)、すべて配当込み(円換算ベース) ※グローバル小型株、グローバル大型株および米国株は前営業日の数値を使用 ※上記グラフは、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。基準価額は一万円当たり、信託報酬控除後のものです

※MSCI ACWI小型株指数は当ファンドのベンチマークではありません

●当資料は、説明用資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面およびここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。※後述の「本資料をご覧ください」上での「ご留意事項」をご確認ください。

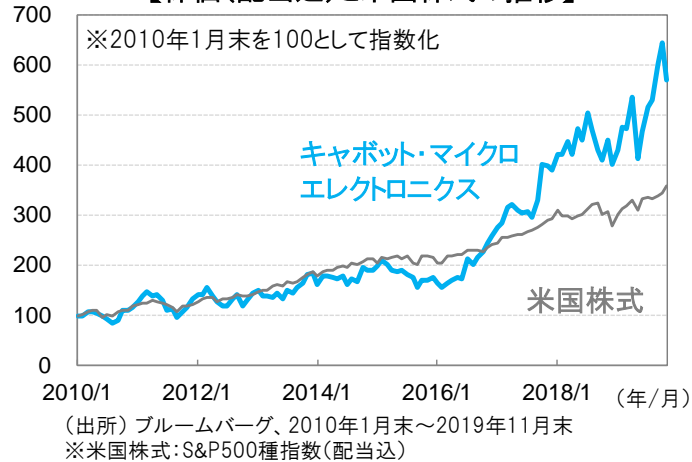
設定来の良好なパフォーマンスへの貢献度が大きかった5銘柄 (保有比率順)

キャボット・マイクロエレクトロニクス

保有比率	2.7%	設定来騰落率	43.9%
------	------	--------	-------

- 半導体製造の過程で使用される電子材料の開発、製造に従事。主力の研磨プロセスで使用するCMPスラリー（研磨剤や化学薬品を含む液体）製造は業界第1位。
- 企業買収による相乗効果やコスト効率の改善により業績が堅調であったことから、株価は5月以降上昇傾向が続く。

【株価(配当込)と米国株式の推移】

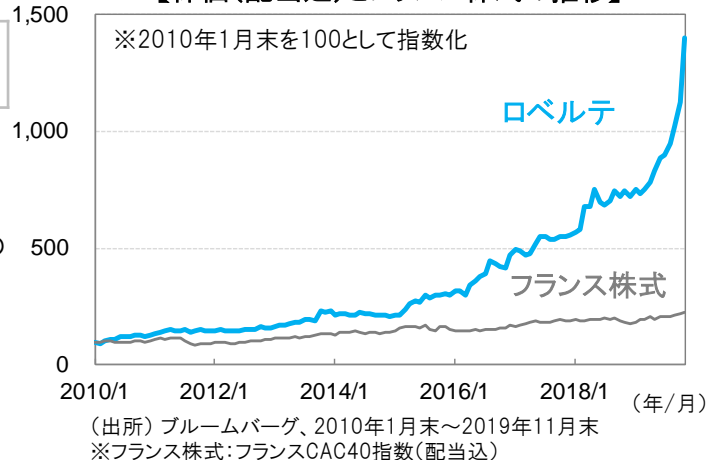


ロベルテ

保有比率	2.2%	設定来騰落率	100.6%
------	------	--------	--------

- 液体香料、香水など天然の香りに関連した芳香成分を製造する香料会社。
- 2019年9月にスイスの同業他社が同社株式の約17%の取得を公表したことで、業界再編への思惑から株価は大幅に上昇。

【株価(配当込)とフランス株式の推移】

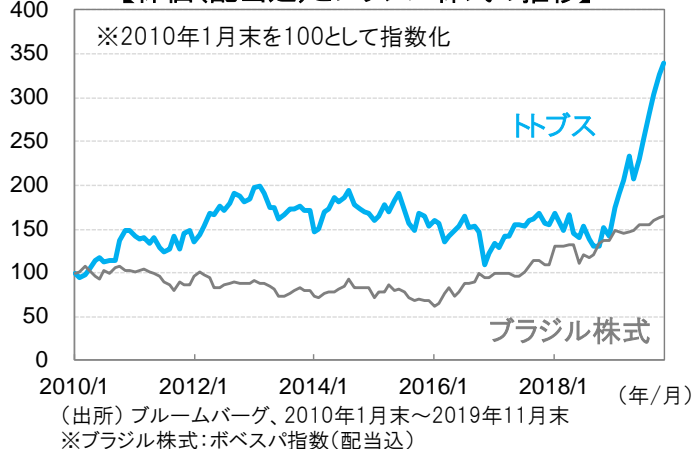


トブス

保有比率	1.8%	設定来騰落率	132.0%
------	------	--------	--------

- 中小企業向けを中心としたERP(情報一元管理システム)のリーディングカンパニー。国内シェア50%を誇る。
- 2019年10月にBtoBのクレジットカード仲介会社の買収を発表したことが市場で好感されたことや、今まで同社が進めてきたデジタル化対応へのビジネスモデルの構造改革が市場で評価されたことで株価が上昇。

【株価(配当込)とブラジル株式の推移】



(出所)ロイス&アソシエイツ

※設定来騰落率は、当ファンドのポートフォリオ構築時(2018年12月11日)～2019年11月29日の株価上昇率、外国株式は前営業日の株価を使用、全て配当込

※貢献度の計算対象期間は設定日(2018年12月7日)～2019年11月29日、保有比率は2019年10月末時点

※保有比率は投資有価証券を対象として算出・作成しており、キャッシュ部分は含まれておりません。

※上記の銘柄は理解を深めるための表示であり、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。また、特定の有価証券の勧誘または売買推奨を行うものではありません

●当資料は、説明用資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面およびここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。※後述の「本資料をご覧ください」のご留意事項をご確認ください。

設定来の良好なパフォーマンスへの貢献度が大きかった5銘柄 (保有比率順)

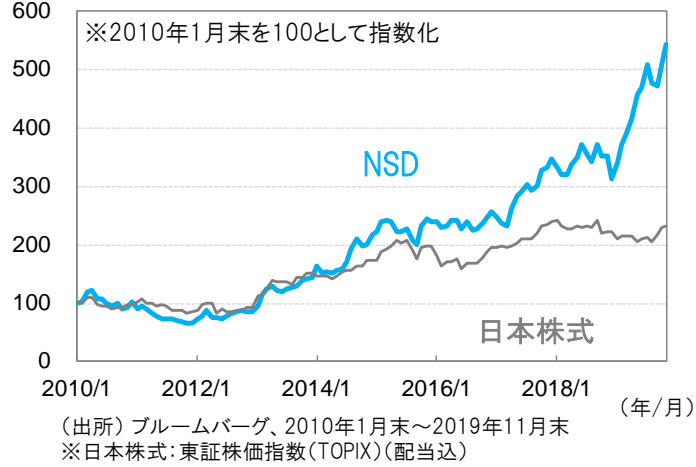
NSD



保有比率	1.7%	設定来騰落率	63.7%
------	------	--------	-------

- 独立系のコンピューターソフトウェア会社。一つの業種に偏らず幅広い業界でシステム開発を行う。
- 5月の決算で発表された大幅な増益や、自社株買い、増配などを市場が好感し、株価が上昇

【株価(配当込)と日本株式の推移】



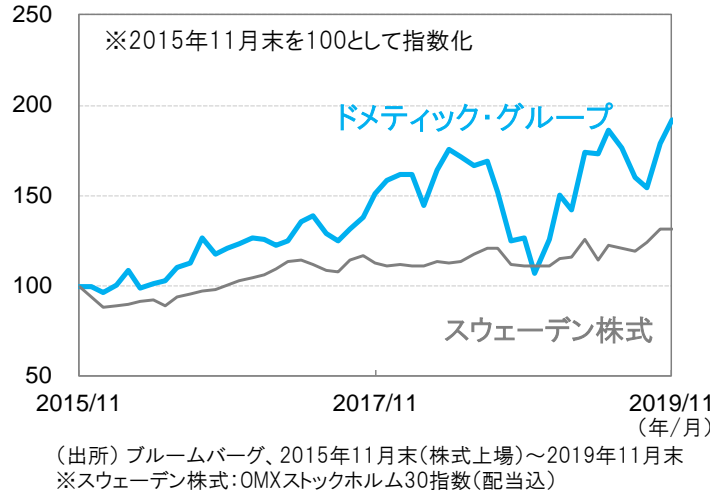
ドメティック・グループ



保有比率	1.5%	設定来騰落率	70.6%
------	------	--------	-------

- RV・レジャーボート向けの機器および付属品を製造・販売している世界最大のサプライヤー。
- 付属品などは顧客の要望でカスタマイズされ販売後のメンテナンスを必要とすることから長期的に繰り返し収入が見込める事業モデルである。大規模なコスト削減計画を発表したことが好感されて株価は上昇。

【株価(配当込)とスウェーデン株式の推移】



(出所)ロイス&アソシエイツ

※設定来騰落率は、当ファンドのポートフォリオ構築時(2018年12月11日)～2019年11月29日の株価上昇率、外国株式は前営業日の株価を使用、全て配当込

※貢献度の計算対象期間は設定日(2018年12月7日)～2019年11月29日、保有比率は2019年10月末時点

※保有比率は投資有価証券を対象として算出・作成しており、キャッシュ部分は含まれておりません。

※上記の銘柄は理解を深めるための表示であり、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。また、特定の有価証券の勧誘または売買推奨を行うものではありません

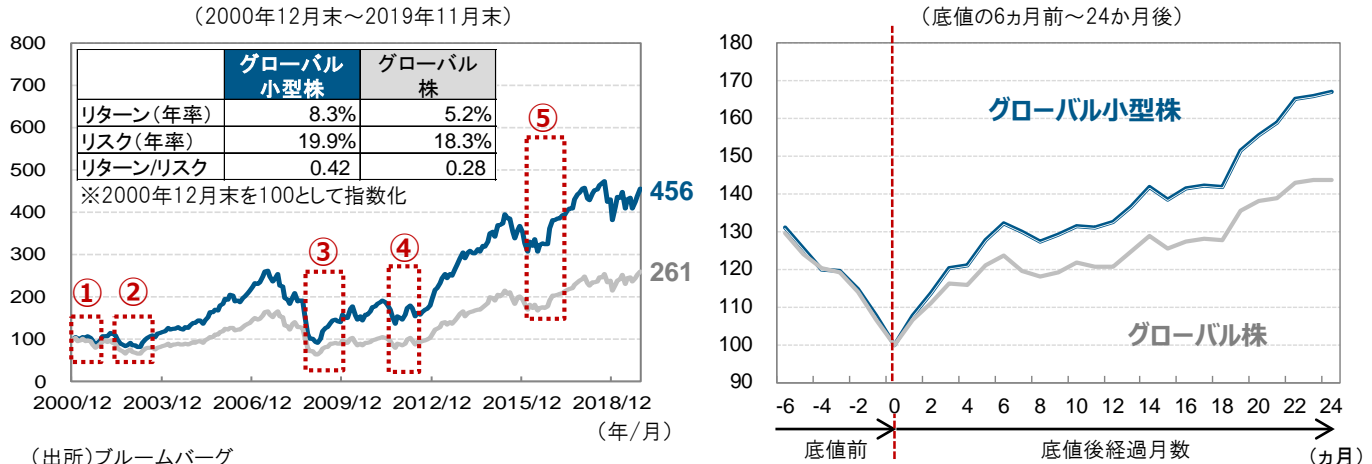
≫ 次ページ以降「現地運用チームからのコメントを質問形式でご紹介」

～不透明な投資環境が続く一方で市場は回復傾向にあります、このタイミングでの投資をどう考えますか～

回復局面における相対的な戻りの早さから、グローバル小型株への投資は有効と考えられます

- グローバル小型株は長期的にみてグローバル株を上回るパフォーマンスをあげています(左図)。またグローバル株と比べてリスクは高いものの、リスク当たりのリターンで見ると、グローバル小型株の方が高くなっています。(左図)。
- また、指数が下落した左図①～⑤のケースでは、グローバル小型株のほうが底値以降の上昇が大きくなっています(右図)。現在は2018年12月の底値以降の戻り局面にあり、相対的に良好なパフォーマンスが期待できます。

【各グローバル株式の推移】



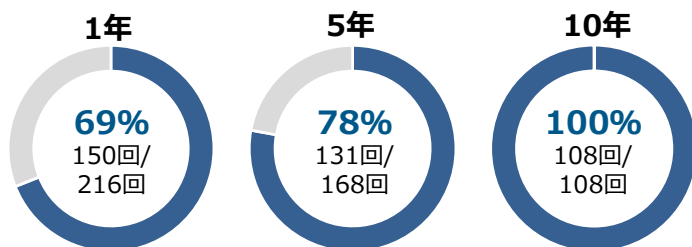
※グローバル小型株:MSCI ACWI 小型株指数、グローバル株:MSCI ACWI Index、全てネット配当込、円ベース
 ※株価指数の底値の6か月前～底値後24か月の月次騰落率の平均を基に算出。株価指数の底値は以下5ケースの各指数の最小値を使用:①2001年9月、②2003年2月、③2009年2月、④2011年9月、⑤2016年2月

相対的な勝率の高さや、今後の1株当たり利益の見通しからも、投資妙味があると考えられます

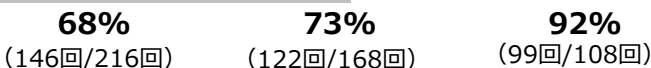
- グローバル小型株投資のリターンがプラスとなった割合は、1年、5年、10年の全ての期間で、グローバル株投資と比べて高くなっています(左図)。
- 1株当たり利益の見通しでも、グローバル小型株は他資産と比較し伸び率が高く、引き続き高成長が期待できる資産であることが分かります。(右図)。

【グローバル小型株投資の保有期間別リターンがプラスとなった割合】

(2000年12月末～2019年11月末)



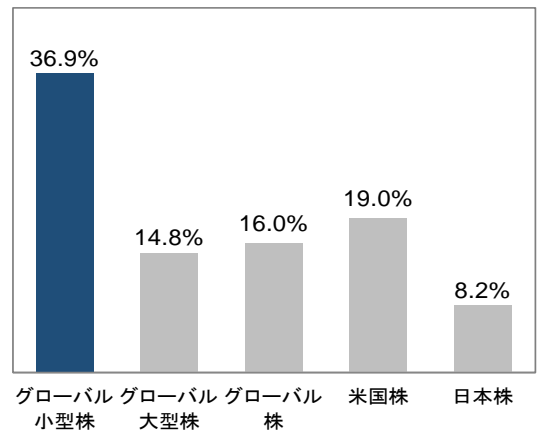
(ご参考) グローバル株投資



※グローバル小型株:MSCI ACWI 小型株指数、グローバル株:MSCI ACWI Index、全てネット配当込、円ベース
 ※上記は過去の運用実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
 ※MSCI ACWI 小型株指数は当ファンドのベンチマークではありません。

【各資産の1株当たり利益(EPS)伸び率】

(2018年と2020年の比較)



(出所)ブルームバーグ
 ※グローバル小型株:MSCI ACWI 小型株指数、グローバル大型株:MSCI ACWI 大型株指数、グローバル株:MSCI ACWI Index、米国株:S&P500種指数、日本株:TOPIX、全て現地通貨ベース ※2019年12月2日時点の予測値

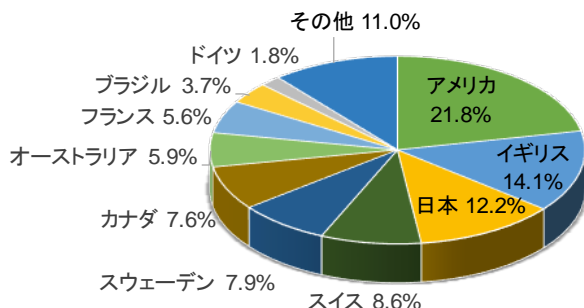
●当資料は、説明用資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面およびここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。※後述の「本資料をご覧ください」上での「ご留意事項」をご確認ください。

～米中貿易摩擦に関して、当ファンドにはどのような影響がありますか～

当ファンドへの影響は、限定的と考えています

- 当ファンドは足元で中国株を保有しておらず(下図)、投資銘柄の中国における売上高も軽微となっています。
- また、関税の観点からも、当ファンドへの影響は限定的です。当ファンドは、価格決定力がある企業に投資しており、価格で勝負するビジネス・モデルの企業や、関税コストの増加分を転嫁することによってサービスや製品に対する需要が大きく減少するような事業には投資を行いません。
- 不透明要因という意味では、ブレグジット(英国のEU離脱)についても動向を巡る混乱が続いていますが、英国株は割安になっているとみています。当ファンドは足元で英国株を約14%保有していますが、特定の市場で高い業界シェアを持つ企業が多いため、ブレグジットによる保有銘柄の業績への直接的な影響は限定的と考えています。

【ポートフォリオ*の国別構成比率】



2019年10月末時点

*LM・グローバル・プレミア小型株マザーファンド。
※構成比率は投資有価証券を対象として算出・作成しており、キャッシュ部分は含まれておりません。
※小数点第2位以下四捨五入のため、合計が100.0%にならない場合があります。

～当ファンドでは、どのような企業に投資を行いますか～

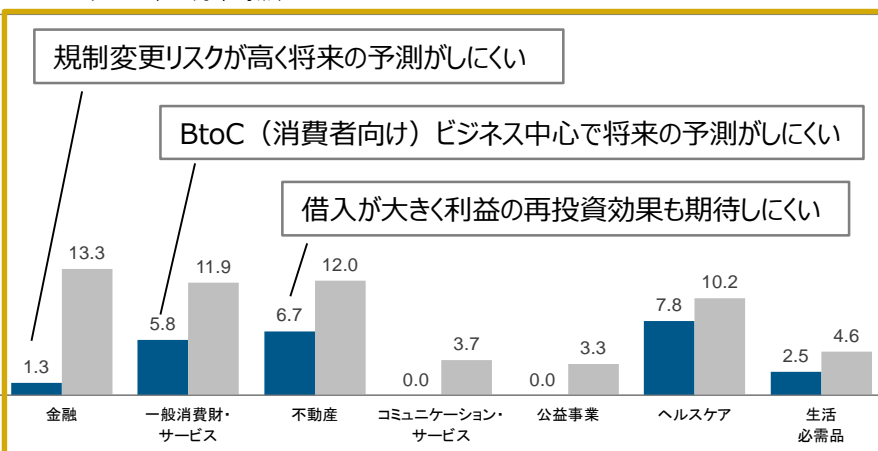
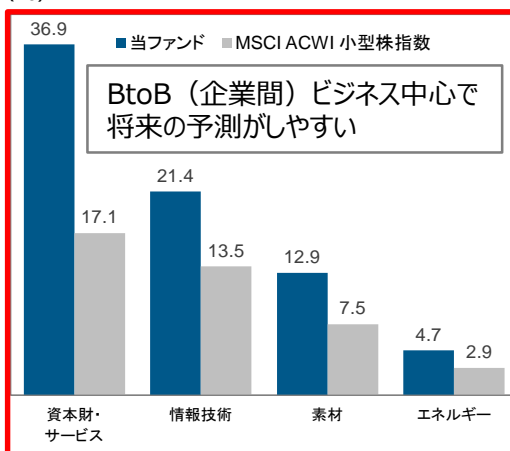
当ファンドでは、際立ったビジネス・モデルや優れた財務内容を持つ「プレミアム企業」に投資します

- 際立ったビジネス・モデルを持つ企業とは、他社の参入を阻む「壁」(業界シェア、価格決定力など)を有し、収益が景気サイクルに影響されにくく、中長期的なビジネス上の予測がしやすい企業を指します。
- 優れた財務内容を持つ企業は、保有資産を適正水準に抑え、過度な借入をしないことで不況時を乗り越えることができます。また、こうした経営体力のある企業は、不況時においても有利な条件で成長のために利益を再投資することができます。
- セクター別では、将来の予測がしやすいBtoB(企業間)ビジネスを展開する企業が多い資本財・サービスや情報技術、素材セクターの組入比率が指数と比べて高くなる傾向にあります。

【ポートフォリオ*のセクター別構成比率】

(2019年10月末時点)

(%)



(出所)ブルームバーグ *LM・グローバル・プレミア小型株マザーファンド ※構成比率は投資有価証券を対象として算出・作成しており、キャッシュ部分は含まれておりません ※小数点第2位以下四捨五入のため、合計が100.0%にならない場合があります ※セクターはGICS(世界産業分類基準)による分類です。

●当資料は、説明用資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面およびここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。※後述の「本資料をご覧ください」のご留意事項をご確認ください。

～今後の運用方針について～

引き続き「ビジネス・オーナーとしてその企業の株式を保有したいか」という観点から確信度の高い銘柄を厳選して投資を行います

- LM・グローバル・プレミア小型株ファンドは設定当初から一貫して「ビジネス・オーナーとしてその企業の株式を保有したいか」という観点を重視して銘柄を厳選しています。ここで重要なポイントは、**投資している企業の多くは景気変動の影響に対して耐性のあるビジネスモデルを有している**ということです。

実際マーケットが不安定な時でも、このような企業は効果的に強みを発揮して柔軟に対応することで、さらに競争力を高めることが期待されます。

間接的な要因で株価が下落している銘柄については、投資も検討します

- 景気変動の影響に対して耐性があるにもかかわらず、マーケットが不安定な時にその影響を懸念して株価が下落している銘柄がある場合、むしろ割安なバリュエーションで投資できる良い機会であると我々は考えます。

徹底してこだわり抜いて分析した企業であるからこそ、株価が下落していても投資するという判断に至れるのです。



当ファンドの運用を担当する
ポートフォリオ・マネジャー

【お申込みメモ】

フ ァ ン ド 名	LM・グローバル・プレミア小型株ファンド(年1回決算型)/(年2回決算型)
購 入 単 位	販売会社が定める単位
購 入 価 額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換 金 価 額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換 金 代 金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申 込 締 切 時 間	原則として、午後3時までに受け付けたものを当日の申込受付分とします。
購 入 ・ 換 金 の 申 込 受 付 不 可 日	ロンドン証券取引所またはニューヨーク証券取引所の休業日の場合には、購入・換金申込は受け付けません。
信 託 期 間	2028年12月6日まで(2018年12月7日設定) 信託期間は延長することがあります。
決 算 日	<年1回決算型> 毎年12月6日(休業日の場合は翌営業日) <年2回決算型> 毎年6月6日および12月6日(休業日の場合は翌営業日)
収 益 分 配	毎決算時に、分配方針に基づき分配を行います。
課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度(NISA)および未成年者少額投資非課税制度(ジュニアNISA)の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※税法等が改正された場合には、内容が変更になることがあります。

【ファンドの費用】

投資者が直接的に負担する費用

購 入 時 手 数 料	申込金額(購入価額に申込口数を乗じて得た額)に販売会社がそれぞれ独自に定める率を乗じて得た額とします。手数料率の上限は、 3.30%(税抜3.00%) です。
信 託 財 産 留 保 額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対し 年率1.87%(税抜1.70%) ※運用管理費用(信託報酬)は毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日(当該終了日が休業日の時は、その翌営業日を6ヵ月終了日とします。以下同じ。)および毎決算時または償還時に当ファンドの信託財産から支払われます。
そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料	売買委託手数料、保管費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税、その他諸費用(監査費用、印刷等費用、計理およびこれに付随する業務の委託等の費用、受益権の管理事務費用等。)等を信託財産から支払います。 その他の諸費用は毎日計上され毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎決算時または償還時に、日々の純資産総額に年率0.05%を乗じて得た金額の合計額を上限として委託会社が算出する金額が、その他については原則として発生時に実費が、信託財産から支払われます。 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※投資家の皆さまにご負担いただく手数料等の合計額については、当ファンドを保有している期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

【委託会社、その他の関係法人の概況】

委 託 会 社	レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投 資 顧 問 会 社	ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピー (在米国)
受 託 会 社	三菱UFJ信託銀行株式会社
取 扱 販 売 会 社 の 照 会 先	レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 http://www.leggmason.co.jp (03)5219-5943

●当資料は、説明用資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面およびここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。※後述の「本資料をご覧ください」上での「ご留意事項」をご確認ください。

販売会社名	登録番号	年1回 決算型	年2回 決算型	日本 証券業 協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物取引 業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会	日本商品 先物 取引協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	○	○	○		○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	○	○	○		○	○	
株式会社三重銀行	登録金融機関	○	○	○				
西日本シティ証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○				
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○		○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○				
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○				
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○		○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	○	○	○	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	○		○		○		

当ファンドについてのご注意事項

投資元本を割り込むことがあります。

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので基準価額は変動します。また、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動による影響を受けます。
- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 当ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

基準価額を変動させるいろいろなリスクがあります。

- 当ファンドの基準価額を変動させる要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」や「流動性リスク」などがありますが、基準価額の変動要因はこれらに限定されるものではありません。ファンドのリスクについては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

分配金が支払われないことがあります。

- 分配対象額が少額等の場合には、分配を行わないことがあります。
- その他重要な事項に関しては、投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されていますので、よくお読みください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

※MSCIが算出する指数は、MSCI Inc.の財産であり、その著作権はMSCI Inc.に帰属します。

本資料をご覧いただく上でのご留意事項

●投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。●投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。●証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものでありますが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元金は保証されているものではなく、投資元金が割り込むことがあります。基準価額の変動要因となるリスクの詳細は投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。●投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。●投資信託に係る申込手数料は販売会社にご確認ください。●投資信託の運用に係る信託報酬その他の費用等の詳細は投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。●投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身でご判断ください。●投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。

投資信託の取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をよくお読みください。

設定・運用は

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント

商号:レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会